

事業所名 放課後等デイサービス Raiz廿日市

支援プログラム (参考様式)

作成日 令和6年 12月 2日

法人 (事業所) 理念		その人がその人らしく個性を活かし自立した生活を送れるよう真心の支援を提供させていただきます。			
支援方針		「気・目・心」配りを大切に子供たちの小さな「出来た！」の喜びを分かち合うことを常として努めます。			
営業時間		平日 12時30分から 18時30分まで 土・長期休暇 9時00分から 18時00分まで	送迎実施の有無		あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	毎日、うがい、手洗い、検温を実施し子供たちに記録簿に記入してもらい記入欄がいっぱいになればおもちゃなどの景品に変える楽しみを体験してもらっている。 トイレ補助が必要な子どもの支援を行っている。			
	運動・感覚	運動療育 (ボール遊び、鬼ごっこ、サッカー等) でコミュニケーションを図ったり、ゲーム的遊びを加えた、音楽、パソコンなどの活動を行っている。			
	認知・行動	強度行動障害へのアプローチ等心身機能、日常生活の向上を図っている。 工作などの創作活動を通して、触覚や視覚を生かしたモノづくりをしている。			
	言語 コミュニケーション	習字教室、音楽教室、英語教室、タイピング等をとおして言語の大切さを学び工作を通してコミュニケーションの大事さを学ぶ。			
	人間関係 社会性	スタッフと子どもが信頼し合えるように密にコミュニケーションをしている。 食育を通して協調性を計り人間関係の大切さも学ぶ中自身で自活できる為の訓練をしている。			
家族支援		連絡帳を毎日記録し保護者と連携をとり公式ラインで情報提供している。	移行支援		年に1度JR等を使い自身で切符を買ってお出かけ体験などして移動経験を積んでいる。
地域支援・地域連携		他の事業所との情報を共有しご近所さんに挨拶運動し連携を図っている。	職員の質の向上		社内研修を顧問労務士、顧問弁護士等に依頼して、年2回ぐらい実施しガバメント、コンプライアンス等の徹底をしている。
主な行事等		春は花見、夏はプールを開き水遊び、秋は果物狩り、保護者招待のバーベキュー大会、秋祭り、冬はクリスマス、ハロウィン大会等開催			